

護岸用連節ブロック「ジャンボ・ブロック・マット」

一括敷設で施工性向上

環境製品をはじめとするコンクリート2次製品の製造・販売を手掛ける(株)ネオコンクリート(福岡市)はこのほど、護岸用連節ブロック「ジャンボ・ブロック・マット」=写真=を新たに開発。一括敷設による施工性向上を実現するほか、開口部からの緑化も可能にした環境保全型の護岸工事に適用できる。

国土交通省新技術情報システム(NETIS:登録番号CB-990040-V)に商標登録されている同製品は、従来の現場連結を行う工法と比べ、現場法長に合わせたユニット化(工場編成)による一括敷設を可能にした。

特長は、①クレーン施工により作業の合理化が図れ、工事短縮による人件費削減が可能②侵食防止に最適で、さまざまな条件下で使用できる③フレキシブルで地盤に良く馴染み、水中施工も可能④深目地に客土をすることにより、法面の前面緑

化が可能⑤透水性に優れているので雨水を地下水に還元できるほか、自然に植物が再生でき周辺環境の保全を図れる⑥転用可能でコスト低減・省資源化に役立つ一など。

施工場所は、1割5分以上の緩勾配で河川や水路、ため池等の法面や護床。工場での編成可能なマットの長さは3~12m(標準は6m)。重量350kg以上/m²で2.5t強。ブロック連結に用いられるワイヤー(亜鉛アルミメッキ)は、標準φ12mmで機能性と高い耐久性を併せ持つ。

問い合わせは、同社鹿児島営業所(Tel099・216・3935)まで。



▲ジャンボ・ブロック・マット



▲クレーン施工の様子